

公益社団法人産業安全技術協会 安全技術講習会
爆発・火災防止講演会～静電気リスクアセスメント特集～

主催：公益社団法人 産業安全技術協会

協賛：一般社団法人 日本粉体工業技術協会

開催の趣旨

可燃性物質（ガス・蒸気、粉じん等）を取り扱う事業所においては、爆発・火災防止のための対策は欠かすことができません。今回は、種々の着火源の中で、特に静電気による災害防止対策を講じる上で必要なリスクアセスメント手法を中心に講演いたします。

労働安全衛生法では、災害の未然防止のためリスクアセスメントを実施することが義務化されていますが、静電気のリスクアセスメントは、単に物質の危険性を把握するだけではなく、静電気現象についても深い知識と洞察力がないと有効かつ効率的な実施は困難です。この講習会では、静電気災害の現状、静電気特性の測定方法、労働安全衛生総合研究所で開発されたリスクアセスメント手法及びその実施例について、専門家及び実務家により平易に解説することとしております。日頃から静電気対策にお悩みの方には有用な技術情報を入手し、日ごろの疑問点を解消する絶好の機会となりますので、是非ご活用ください。

記

1. 開催日時・場所

- (1) 大阪会場 平成 30 年 12 月 6 日（木）
エル・おおさか （5階 視聴覚室）
- (2) 東京会場 平成 30 年 12 月 17 日（月）
日本ボイラ協会 （2階 講習室）

2. 演題・講師

(1) 静電気災害の現状と事例

統計情報をもとに、災害発生現状を分析するとともに、教訓的な事例数例について原因及び再発防止を解説します。

公益社団法人産業安全技術協会 常務理事兼技術支援部長 山隈瑞樹

(2) リスクアセスメントのための静電気測定技術

リスクアセスメントを行う際に必要となる各種物質の静電気特性の測定方法について解説します。

春日電機株式会社 営業技術部長 鈴木輝夫

(3) 静電気着火のリスクアセスメント手法

新たに研究・開発した静電気リスクアセスメント手法を用いて、その実施例を解説します。

独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所 電気安全研究グループ
統括研究員 大澤 敦

(4) リスクアセスメント適用事例 1

引火性液体が入ったタンク天板上からのサンプリング作業への適用例を解説します。

住友化学株式会社 生産安全基盤センター 安全工学グループ
主席研究員 太田 潔

(5) リスクアセスメント適用事例 2

社内での適用例 2 例について解説します。

株式会社カネカ 信頼の生産力センター 安全・安心の生産センター 技術グループ
鍋倉 弘

3. 受講料（消費税込み）：1名につき 20,000 円（会員*は 19,000 円）

※産業安全技術協会又は日本粉体工業技術協会の会員企業に所属される方

4. プログラム

10:00～10:05	ガイダンス	
10:05～11:05	静電気災害の現状と事例	[山隈] 60分
11:05～11:15	休憩	
11:15～12:15	リスクアセスメントのための静電気測定技術	[鈴木] 60分
12:15～13:00	昼食（弁当をお配りします）	
13:00～15:00	静電気着火のリスクアセスメント手法	[大澤] 120分
15:00～15:10	休憩	
15:10～15:40	リスクアセスメント適用事例 1	[太田] 30分
15:40～16:10	リスクアセスメント適用事例 2	[鍋倉] 30分
16:10～16:20	全体質疑応答	10分

※各講義時間には、その講義内容に限定した質疑応答の時間を含みます。